

平成21年度

# 通 常 総 会

議 案 お よ び 資 料

と き 平成21年5月19日(火)  
13:30～15:00

と ころ 札幌市中央区北4条西5丁目  
KKRホテル札幌 5F 丹頂



一つの芽 そこから始まる 大きな森  
(倶知安町立東小学校5年 石田成海)  
～緑化活動啓発作品審査「最優秀賞」標語～

社団法人 北海道森と緑の会

# 平成21年度 通常総会次第

1 開 会

2 理事長挨拶

3 感謝状贈呈式

4 来賓挨拶

5 議 事

(1) 議長選出

(2) 議事録署名人選出

(3) 議 事

① 議案第1号 平成20年度事業報告並びに収支決算について

② 議案第2号 平成21年度事業計画並びに収支予算(案)について

③ 議案第3号 新しい公益法人制度への移行について

④ 議案第4号 定款の改正について

⑤ 議案第5号 新たな公益社団法人への移行に適合する定款の制定について

⑥ 議案第6号 役員を選任について

⑦ 議案第7号 会費の額について

⑧ 議案第8号 役員報酬の額について

⑨ 議案第9号 その他

(4) その他

6 閉 会

## 平成20年度 事業報告

### はじめに

平成20年度は、全国植樹祭記念事業の実施などを通じ、本道の緑豊かな郷土の充実のため、「緑の募金」運動事業の基軸として、市町村や道庁等との連携のもと下記の項目を重点事業として地域緑化の推進や緑の少年団の育成、緑化活動団体等への支援、緑化活動の普及啓発を行いました。

#### ○重点推進項目

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| ① 第58回全国植樹祭記念事業等の推進 | ⑤ 森林づくり支援事業の推進 |
| ② 緑化思想の普及啓発活動の推進    | ⑥ 林業普及事業の推進    |
| ③ 「緑の募金」運動の推進       |                |
| ④ 緑化関係事業の推進         |                |

### 1 第58回全国植樹祭記念事業等の推進

平成19年6月24日、苫小牧市において開催された第58回全国植樹祭の意義を後世に引き継ぐため、参加者が記念植樹した苗木の下草刈りなどの保育をボランティア団体などと協働で実施したほか、全道6圏域で実施した「地域と人をつなぐ森づくり推進事業」に取り組みました。この事業の資金は全国植樹祭協賛金を活用するもので、今後の植樹祭会場跡地の植栽木の保育管理、記念事業の開催などのため、『基金』として適切な執行管理に努めます。

本年度までの基金の状況は、以下の通りとなっています。

#### (1) 北の大地の森づくり基金状況

協賛頂いた個人 ・団体・企業	協賛金収入	本年度末基金額
1,126件	67,333,519円 (利子等外数 156,698円)	38,806,291円

#### (2) 北の大地の森づくり基金事業

##### ① 全国植樹祭記念事業

・平成20年6月21日第58回全国植樹祭記念事業として、高橋知事ほかボランティア団体など約300人の参加者による、サクラ、クリーンラーチなどの記念植樹、天皇陛下の歌碑除幕式、森のコンサートなどを関係機関との連携・協働で開催しました。

##### ② 全国植樹祭開催跡地の保全

・第58回全国植樹祭で道内外の参加者が植樹した苗木の保全のため、募集した下草刈りボランティア団体が実施した年2回の下草刈活動に当会は支援を行いました。

### ③ 地域と人をむすぶネットワーク事業

・北海道の補助金を受け、全国植樹祭の理念を後世に引き継ぐための担い手づくり「地域と人をむすぶネットワークづくり事業」を、本年度は渡島、桧山、網走、胆振、十勝、根室の6圏域を対象に各ネットワーク組織が取り組んだ地域の植樹祭や、子供たちの森林体験活動、森林に関する講演会などの開催に支援を行いました。

### ④ 地域植樹活動支援交付金事業

・全国植樹祭の開催意義を後世に伝えるため、全道14支庁で行われた植樹祭などの記念事業に対し開催経費の支援を行いました。

### ⑤ 青少年育成事業

・次代を担う青少年の活動グループである「緑の少年団」が「げんきの森」などをフィールドとして開催された環境教育を学ぶ「子どもたちの森林学習体験活動促進事業」を実施した20団体に対し助成を行いました。

## 2 緑化思想の普及啓発活動の推進

### (1) 全国植樹祭等への参加

社団法人国土緑化推進機構及び開催県の共催による次の行事に参加しました。

- ① 第59全国植樹祭 平成20年6月15日 秋田県大館市
- ② 第37回全国林業後継者大会 平成20年6月14日 秋田県秋田市

### (2) 緑化活動普及のための作文、標語、ポスター原画の募集

青少年の緑化思想の高揚を図るため、北海道及び北海道教育庁の後援と連携により、小・中学校、高等学校の児童・生徒を対象に「緑」をテーマにした作文・標語・ポスター原画の募集を行いました。

応募作品数は696点で前年比97%でしたが、内訳はポスター原画が454点で前年度比142%と大幅に伸び、標語は223点で前年比58%と大きく減少しました。

各支庁から推薦のあった応募作品は、当会において審査会を開催し、優秀作品などを次のとおり決定しました。

なお、ポスター原画及び標語の優秀作品に選定されたものは、社団法人国土緑化推進機構の主催による全国規模で行われる緑化思想普及啓発作品の募集に推薦した結果、全国審査会において下記のとおり入選しました。

#### ○ 国土緑化推進機構理事長賞

標語の部、稚内市立下勇知小中学校小学5年生 堀 篤志さんの作品が入選となりました。

最優秀のポスター原画及び、標語は当会の平成21年度「緑の募金」PR用ポスター、チラシなどに活用しています。

① ポスター原画の部(応募総数 47校 454点)

【小学校の部】

区 分	氏 名	学 校 名	学 年
最優秀	三 瓶 智 香	恵庭市立恵み野小学校	6
優 秀	堀 田 春 奈	北見市立緑小学校	5
優 秀	佐 藤 裕 香	知内町立知内小学校	5
優 秀	横 内 聡	苫前町立苫前小学校	6
佳 作	坂 本 明日美	京極町立京極小学校	6
佳 作	平 間 さくら	釧路市立阿寒湖小学校	6
佳 作	長 内 舞	釧路市立阿寒湖小学校	6

【中学校の部】

区 分	氏 名	学 校 名	学 年
最優秀	野 崎 綾 菜	札幌市立札幌中学校	2
優 秀	小 野 みづき	音更町立緑南中学校	2
優 秀	土 山 理 帆	北見市立小泉中学校	3
優 秀	成 田 佳 椰	深川市立音江中学校	1
佳 作	松 本 萌乃美	共和町立共和中学校	1
佳 作	川 井 由 衣	共和町立共和中学校	1
佳 作	長 尾 唯	小平町小平中学校	2

【高等学校の部】

区 分	氏 名	学 校 名	学 年
佳 作	小 野 有 紗	北海道札幌稲雲高等学校	1

② 標語の部 (応募総数 10校 223作品)

区分	標語	氏名	学校名	学年
最優秀	一つの芽 そこから始まる 大きな森	石田 成海	倶知安町立東小学校	5
優秀	守りたい 愛する地球(ほし)の 輝く緑	五十川 襟紗	北海道深川東高等学校	3
優秀	木と森と 育ててストップ 温暖化	堀 篤志	稚内市立下勇知小中学校	小5
佳作	一つの木 大事にしたら 百の森	佐藤 未菜美	倶知安町立東小学校	5
佳作	広げよう 緑を育む あなたの手	五十川 襟紗	北海道深川東高等学校	3
佳作	守りたい 豊かな自然と 地球の未来	西原 健斗	北海道深川東高等学校	3
佳作	守りたい 君と緑と 未来の地球	能島 彩香	北海道富良野緑峰高等学校	2
佳作	届けよう 地球の未来へ 緑のバトン	山下 千遙	北海道富良野緑峰高等学校	2
佳作	守ろうよ 心をひとつに 地球の緑	権代 晃久	稚内市立下勇知小中学校	中3
佳作	創ろうよ 未来の森を 君の手で	井澤 茜音	白糠町立茶路小中学校	小6

③ 作文の部 (応募総数 2校 19作品)

区分	作品名	氏名	学校名	学年
最優秀	該当作品なし			
優秀	林業体験	田村 小百合	西興部村立西興部中学校	1
優秀	雑草のように上をむこう	佐藤 成二	北海道 岩見沢高等養護学校	3
佳作	私とミニトマト	長内 みなみ	北海道 岩見沢高等養護学校	3
佳作	学んだこと	橋本 彩加	西興部村立西興部中学校	2
佳作	森林の価値	島 誠太	西興部村立西興部中学校	2

### (3) 緑化功労者等の表彰

#### ① 全国緑化功労者表彰

・平成20年度緑化功労者林野庁長官賞

平成19年度に北海道で開催された東北・北海道地区緑化推進大会において、地区緑化功労者として表彰された、北斗市の齊藤権四郎氏が全国緑化功労者として、平成21年6月7日に福井県で開催される第60回全国植樹祭において表彰されます。

#### ② 東北・北海道地区緑化功労者表彰

平成20年10月9日、山形県で開催された平成20年度東北・北海道地区緑化推進大会で、当会が推薦した次の両氏が、平成20年度東北・北海道地区緑化功労者として、国土緑化推進機構理事長、並びに東北・北海道地区緑化推進協議会会長から表彰されました。

上川支庁東川町 佐々木 彰郎 氏

根室支庁羅臼町 中谷 新吉 氏

#### ③ 北海道社会貢献賞(森を守り緑に親しむ功労者)

次の方々が平成20年度北海道社会貢献賞を受賞されました。

氏 名	住 所
道民の森ボランティア協会 (会長 中川 祐四男)	札幌市中央区
日本樹木医北海道支部 (会長 橋場 一行)	札幌市中央区
NPO法人長万部町緑の樹を愛する会 (理事長 丹野 利春)	山越郡長万部町
北の桐を創る会 (会長 松村 隆)	桧山郡江差町
占冠村森林人林業グループ (会長 大町 強)	勇払郡占冠村
浜頓別ジュニアアドベンチャークラブ (会長 佐藤 豊)	枝幸郡浜頓別町
今 野 富 雄	斜里郡斜里町
浜中漁業協同組合女性部 (部長 鈴木 栄子)	厚岸郡浜中町
歯舞漁業協同組合女性部 (部長 小平 きみえ)	根室市

### (4) 国土緑化推進機構の委託事業・助成事業

#### ① 平成20年度美しい森林づくり普及啓発活動支援事業の実施(助成事業)

国土緑化推進機構の委託事業として、美しい森林づくり普及啓発のためのフォーラムの開催、「フォーレストサポーター」制度をメディアを活用し、周知を図りました。

#### ② 平成20年度学校林整備・活用推進モデル学校林設定事業(委託事業)

国土緑化推進機構の委託事業として、モデル的学校林の整備を実施しました。

対象学校・・・札幌市立盤溪小学校学校林

### (5) 「もりのくに・につぼん」運動と「森の名手・名人」の推薦

平成14年度から森に関わる生業等のうち、優れた技を極め、他の技術技能者等の模範となっている達人を全国で毎年100人を「森の名手・名人」として、国土緑化推進機構で選出公表しています。本年は当会から次の方を推薦し、「森の名手・名人」に認定されました。

- ・森づくり(造林手) 宗谷支庁礼文町 土田 隆 氏
- ・森づくり(そま師) 桧山支庁上ノ国町 長谷川 力雄 氏
- ・加工(桐下駄・タンス職人) 桧山支庁江差町 石山 辰巳 氏

### 3 「緑の募金」運動の推進

平成20年度の「緑の募金」運動は、道内の市町村、自治会、職場、企業、学校のほか、多くのボランティア団体等の協力を得て実施しました。

主な取組としては

- ・「街頭募金出発式」の実施

道庁赤レンガ前で、北海道副知事、北海道議会副議長、札幌市環境局理事、北海道森林管理局次長などの参加協力のほかボーイスカウト、ガールスカウト、高校生など緑の募金協力団体などの参加で実施しました。

- ・募金協力団体による街頭募金等

当会が募金協力団体として指定した、森林整備などに自主的に取組む各種ボランティア団体による街頭募金等と緑化事業を実施しました。

- ・北海道洞爺湖サミット記念緑化募金の実施

環境を主要なテーマとして、平成20年7月7日～9日北海道洞爺湖サミットの開催を契機に環境問題を改めて考える機会とするため、開催地の胆振支庁周辺及び千歳市などの洞爺湖周辺や全道各地でサミット記念行事が開催され、これらの機会を通じ「緑の募金」活動が実施されました。

#### (1) 平成20年度「緑の募金」の実績について

募金総額 48,071千円（目標額50,000千円 達成率96% 対前年度比111%）

<募金方法別の結果>

単位：千円、%

区 分	平成19年度	平成20年度	増減	前年度比
家庭募金	10,422	10,221	△201	98
街頭募金	7,082	5,854	△1,228	83
職場募金	10,171	9,945	△226	98
企業募金	8,500	14,773	6,273	174
学校募金	4,552	4,552	-	100
その他	2,621	2,726	105	104
合 計	43,348	48,071	4,723	111

#### (2) 「緑の募金」の用途について

緑化事業費等 25,539千円（前年26,385千円）前年比103%

##### ① 市町村等緑化事業（募金額の65%相当額を原資とした地域緑化事業）

交付額は21,821千円（前年22,404千円）前年比97%

・市町村緑化推進委員会等が実施団体となり、公園及び街路等の公共施設や学校の緑化等、植樹祭等の苗木費・資材費など地域緑化推進に活用されました。昨年と事業費が減少しているのは、市町村緑化推進委員会等の募金額の減少によるものです。

##### ② 公募事業（募金額の35%相当額の一部を原資として団体活動支援）

交付額は、2,069千円（前年1,750千円）前年比118%

・採択事業数は16事業（前年17事業）、ボランティア団体、市町村緑化推進委員会、漁協関連団体が実施した地域住民との協働による森林づくりに対し、当会から活動資金を交付しました。

### ③ 団体緑化事業交付金

交付額は、1,649千円（前年2,231千円） 前年比74%

・当会が指定した、緑の募金協力団体が募金活動実績に基づき交付するもので、自主的な森林づくり等に活用されました。

### ④ 国土緑化推進機構交付金

交付額は、1,708千円（前年1,764千円） 前年比97%

・全国的見地からの緑化活動や国際緑化協力費などに活用するため、各県緑推から交付されています。

### ⑤ 募金資材費、募金活動費等

事業費は、6,602千円（前年4,932千円） 前年比134%

緑の羽根や街頭募金箱、ポスター、パンフ、募金用の幟等の各種募金資材を当会が一括作成調達し、市町村緑化推進委員会等に送付しました。

また、本年はアクションプランによるキャラバンの実施、PR誌「緑の栄光」をリニューアルし「Gift（ギフト）」（緑の栄光第54号）の配布や市町村、募金協力団体等を中心に活動協力を依頼しました。

## （3）「緑の募金」顕彰の実施

緑の募金顕彰は、平成20年5月20日開催の当会通常総会で、4個人、7団体の方々へ、当会理事長感謝状と国土緑化推進機構理事長の感謝状も併せて、以下のとおり当会理事長から贈呈しました。

なお、当日欠席の方々へは、別途、贈呈並びに伝達しています。

感謝状贈呈区分	感謝状贈呈者名	住所
国土緑化推進機構理事長	北海道鮭商生活衛生同業組合	札幌市
北海道森と緑の会理事長	谷口 正夫	美深町
北海道森と緑の会理事長	平野 喜久男	札幌市
北海道森と緑の会理事長	田中 満	江別市
北海道森と緑の会理事長	青山 博俊	札幌市
北海道森と緑の会理事長	株式会社ノーザンホースパーク	苫小牧市
北海道森と緑の会理事長	ダイドードリンコ株式会社	札幌市
北海道森と緑の会理事長	株式会社アドバコム	札幌市
北海道森と緑の会理事長	北海道木材市場協同組合	札幌市
北海道森と緑の会理事長	トヨタ部品北海道共販（株）	札幌市